

道路の安全を守ります！！～落下物回収作業レポート～

2017.12.22



おかこくの仕事は新しい道路やバイパスを作るだけではありません。
道路を日々安全に保ち、きちんと使える状態を持続させるのも大事な仕事のひとつです。

みなさんは、

「道路の落下物を車で踏みそうになった！」

「運転していて道路に落ちているものを避けるのにヒヤッとした」

などの場面に遭遇したことはありませんか？これらが原因で事故が起きたら大変！

トラブルの元は、いち早く取り除かねばなりません！

落し物（落下物）の回収も道路を日々安全に保つための仕事のうちの1つです。

私の勤務する道路出張所にも道路利用者の皆さんから日々道路落下物の情報が

寄せられます。

私もその情報を受けて、道路保守を担当している業者さんに落下物回収作業を依頼しています。

今回、意外と多い道路落下物の回収作業に同行・レポートしたいと思います。

○パトロールは2台の車両で行います。先頭が落下物回収車、後ろが作業を行っていることを後続車に知らせるための標識車です。



○運転しながら道路上に落下物が無いかチェック！

落下物発見だけではなく路面に異常がないかなども併せてチェック。

とても地道な作業です。



○あ！落下物を発見！



○回収に走るのは助手席の作業員さんの役割です。

事故を誘発しないよう、すばやく回収。

所要時間はおよそ5秒！は、早い！！



○ポイ捨てのごみも手早く回収。



○びゅんびゅん走る車の間をすり抜けて、中央分離帯にあった
落下物を無事回収。危険を伴う作業です。



落下物が多く見つかる場所や天候状況の傾向として、路面状態があまりよくないところや橋梁のつなぎ目であるジョイント部に多く、雨の日は少なく（荷台にシートをかぶせるため）、風の日が多い（飛びやすいため）のだとか。

しばらく、路面を見ていると、目が疲れてきたレポーターの私…。
「慣れもあるけど、2, 300m 先を広く見ると疲れにくいよ。」と教えてくれたのは 25 年の経験を持つ竹内さん。
鋭いまなざしで落下物を見逃しません！！



竹内さん。
経験25年の大ベテラン。

○後続の標識車が徐々にスピードを緩め、離れて行きます。



何だろう?? と思っていると、前方に落下物があり、先頭の回収車両が停車しササッと回収。

その間に後続車たちが追いついてきました。

なるほど、作業を行う作業員の安全を守るために作業場所と後続車の距離をきちんと取って、作業後は後続車の通行を妨げないように速やかに距離を詰めているんですね。打合せなしのすばらしい連携プレーです!!

○本日の回収品！！3時間のパトロールでこれだけの落下物を回収。



○毛布、ダンボール、鉄の棒、プラスチック破片、ロープなどなど 19 点余り。

休みの日もつい習慣で道路の状況を気にかけて見てしまう、という竹内さん。

道路の安全を守る仕事一筋、といった印象でカッコ良かったです！

落下物が原因で他者に損害を与えた場合は、落とし主に損害賠償責任が生じます。

運転時の積荷のチェックはしっかりと行って下さいね。

それとみなさま、黄色い車を見かけたら、道路の安全を守るため作業を行っていますのでどうぞ温かく見守ってください！

記事作成：岡山国道事務所 岡南維持出張所 N